

旧耐震基準の木造住宅における容易な耐震診断調査票

調査日時: 2025 年 8 月 15 日 12 時
調査者氏名: 倉敷 太郎

太枠内を記入してください

I)建築物の概要

- 1.建築物の所有者: 倉敷 太郎
2.建築物の所在地: 倉敷市西中新田640
3.階 数: 2階

II)前提条件の確認(いずれも必須) チェック欄

2階建て以下の木造住宅である	☐
昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した	☐

III)一見して倒壊の危険性があると判断できる項目

(1以上ある場合は倒壊の危険性があると判断) チェック欄

建 物 全 体	全体又は一部に崩壊がある	
	全体又は一部に傾斜や変形がある	
地 盤・基 礎	地盤沈下が生じている	
	基礎がコンクリート以外(玉石、石積み、ブロック等)である	
	基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる	☐
老 朽・腐 朽	柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある	
	柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる	
	柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる	

IIIのチェック欄が一つも当てはまらない場合は次に進んでください

IV)壁の割合

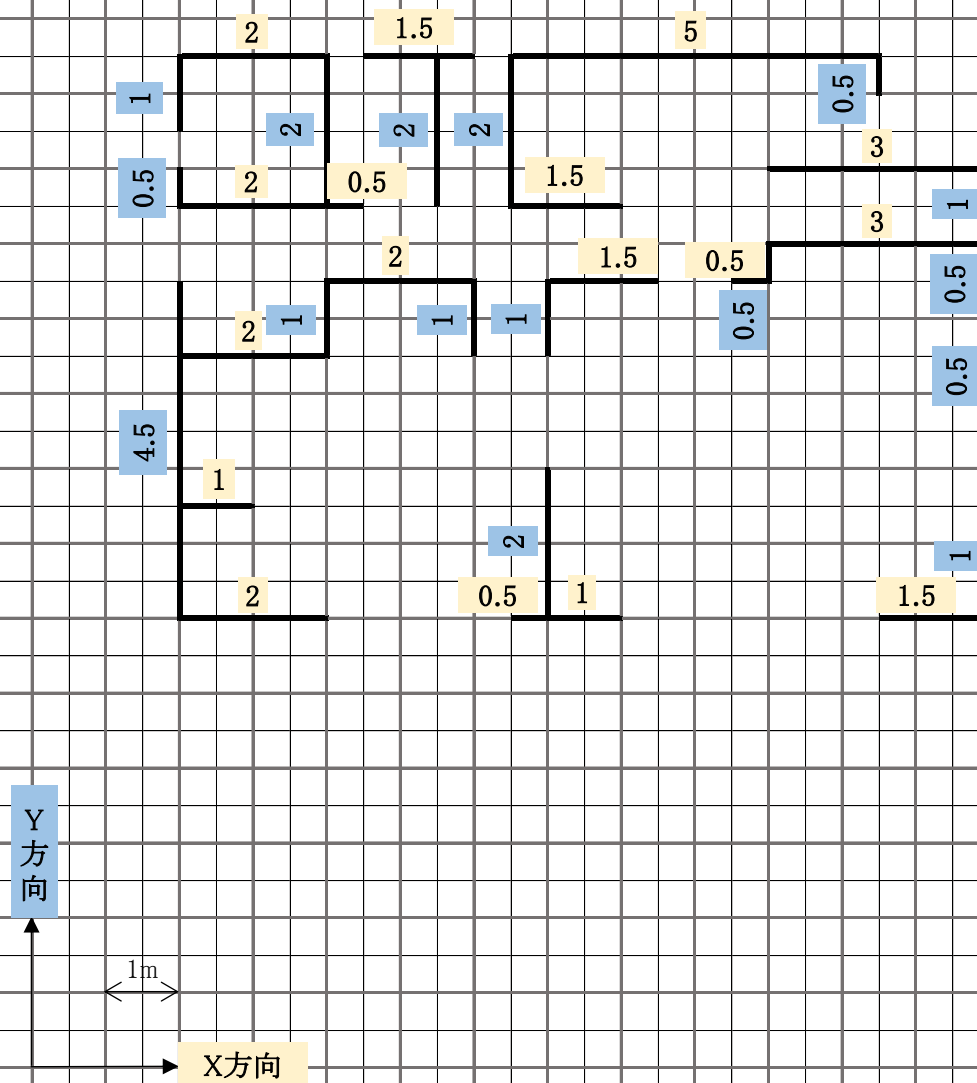
一見して倒壊の危険性があると判断できない場合でも、壁の割合が0.8未満である場合は、
倒壊の危険性があると判断できるものとする。



	(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)壁の割合
方向	壁の長さ(m)	建面(m ²)	イ/ロ	必要値	ハ/ニ
X	28.5	75.00	0.38	0.52	0.73
Y	23.0	75.00	0.31	0.52	0.60

壁の長さを計測して記入してください。

- ・1cmで1mとして記入してください。
- ・5mm方眼です。
- ・計測した長さをそのわきに記入してください。
- ・窓、ふすま、障子、ドアなどの開口部は記入不要です。
- ・2階建の場合は1階部分のみ記入してください。



(イ) 壁の長さの合計

① X(横)方向

①

28.5

m

② Y(縦)方向

②

23

m

①②のうち小さいほうを記入してください。

イ

23

m

(ロ) 面積

ロ

75

m²

(ハ) 単位面積あたりの壁の長さ

イ

23

÷

ロ

75

=

ハ

0.31

(ニ) 必要な壁の長さ

ニ

0.52

m

下の表から該当するものを選んで記入してください。

屋根の種類	階数	
	平家	2階建
軽い屋根 (鉄板葺・石綿板葺・スレート 葺等)	0.20	0.52
重い屋根 (かや葺・瓦葺等)	0.27	0.59

(ホ) 壁の割合

ハ

0.31

÷

ニ

0.52

=

ホ

0.6